

LABO3 新聞

ជំរាបសួរ

(チョムリアップ・スオ)：こんにちは！

今回の LABO3 新聞は夏休みの活動を報告しちゃいます！！！！

#平成最後の夏休み#LABO 活動

8月10日 昭和女子大学の初等教育学科の川村真由さんに「フィリピンの現状を知る」というテーマで国際理解についてディスカッションをしました！

8月23日 JICA 地球広場へ行きました！

8月24日 「出口流 グローバル活躍術」に参加しました！

川村さんとのワークショップについて

川村さんがフィリピンに研修に行っていたときに撮った写真について「誰が・どんな場所で・どんなことを」しているのかをそれぞれ考え、発表しあい、写真からフィリピンの環境や人々が置かれている現状について考えることができました。



具体的には、ストリートチルドレンとしてごみを拾って生活していたり、日本と比べて学校に通えている子もまだ少なく、学校の環境も悪いことがわかりました。

そして、「学校にいけない」ということがどのようなことに影響するのかを考えました。12枚のカード関連する順番に並べていき、「学校にいけない」ということが子供たちの将来の可能性を狭くしてしまうかもしれないということを知ることができました。そして、並べ方も人それぞればらばらだったことにも驚きました。円の形に並べたり、直線状に並べたりと人それぞれ考え方の違いにも気づくことができました。



これからの活動

これからも川村さんにサポートしていただきながら、フィリピンの現状も学んでいきたいと思えます！カンボジアだけにとどまらず、他の発展途上国にも目を向けていきます！！

JICA地球広場を訪れて



JICA（国際開発機構）とは、日本政府による発展途上国への支援（政府開発援助）を実施する機関で、井戸や学校などの建設資金の提供や、発展途上国の人材育成を行っています。JICAは、開発途上国と日本を結ぶ「架け橋」の役割を担っているのです！そして私たちが訪れたJICA地球広場は、開発途上国の人々への共感や連帯感をはぐくむ“ひろば”として利用されています！

～水問題～

JICAは、世界の9人に1人が「安全な水」を十分、かつ容易には使えない！ということに目を向け、

- ① 効率性と安全・安定性を考慮した水の供給
- ② 生命を守るために水をきれいにする
- ③ 水環境の保全

の3つのアプローチから、発展途上国の水分野の支援を行っています！

例えば、

カンボジアの首都プノンペン市において、市民の方々に安全できれいな飲み水を供給するための浄水場の整備に努めるなどです。



写真提供：今村健志朗 / JICA

～子どもの就学率問題～

就学年齢に達していますが、小学校にいけない子供が約6100万人もいます。子供が学校にいけない理由は大きく分けて家庭と学校の問題に分けられます。

●家庭

- ・ お金がない（学ぶために必要な文房具すら買えない！）
- ・ 両親が学校に行かせる必要性を感じていない

●学校

- ・ 先生が少ない（または、いない）
- ・ 自分が話せる言葉での授業がないのでわからない



子供が学校で教育を受けられない

⇒文字の読み書きができない（病気になっても薬の注意書きが読めない）

世界のすべての子供が、男女の区別なく質の高い教育を受けられるようになることは、国際社会の共通目標です。質の高い教育を受けることができれば、人は貧困の連鎖を断ち切ることができます。

「出口流 グローバル活用術」について

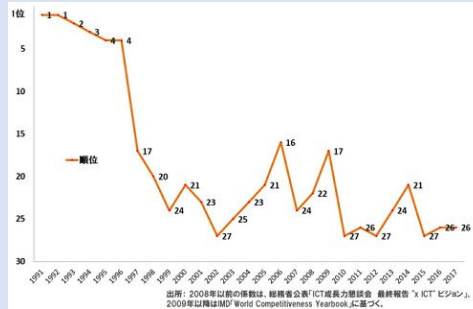
8月24日に都立中央図書館で出口治明氏により行われていた講演会に参加してきました。テーマは「出口流 グローバル活用術」です。たくさん学ぶことはありましたが、その中でも印象的だったお話を二つ紹介します。



立命館アジア太平洋大学 (APU) の学長であり、東京都立図書館アドバイザーでもあります。

～国際競争の推移～

1997年まで国際競争力の上位にいた。しかし、バブル崩壊後、一気に下がり、現在は26位ほど



その理由は？

以前は製造業中心だったため、力のある男性が長時間労働をして女性は専業主婦で全体が上手くいく社会だったが現在はサービス業中心のため、女性も社会に出て意見を言うことが必要

また、先進国の中で他国より低く、大学進学率が5割であることも要因の一つ。今の日本は夫婦間でコミュニケーションをとり、互いの意見を尊重することが必要

勉強は大切！！

現在の日本は皆さんご存知のように少子高齢化が進んでいます。他国に比べても、一番少子高齢化が進んでいるのは右のグラフを見ても明らかである。そのため、現在日本では将来より少子化が進むと若者への負担が大きくなりかねない、という点が問題視されている

しかし…

ヨーロッパでは考え方がまるで違う。その考えとはオールサポータイングオールという考え方で、みんなが、みんなの面倒を見るというものである。

日本の社会が良くなるには、みんなが今の体力能力を発揮することが必要である。

又、そのほかにも「定年をなくす」という案がある

